

付 属 資 料

1. 評価グリッド
2. 投入実績
3. ミニッツ・合同評価レポート

1. 評価グリッド

評価項目	評価設問		判断基準	必要なデータ	調査結果
	主設問	副設問			
妥当性	プロジェクトはカ国の医療従事者教育政策のニーズと整合性があるか？	医療従事者教育改善の必要性を記載した政策文書があるか？	保健政策との整合性	保健教育政策	「Health Sector Strategic Plan 2003-2007」では、「保健医療システムにおける人材雇用と人材育成」による、保健医療人材の活用が、政策で提示された6つの重要課題のひとつである「人材育成(Human Resource Development)」とともに示されている。人材育成に関する3つの戦略のひとつには「質の高い包括的研修・教育を通じて保健省人材能力の向上」が謳われている。また「Health Workforce Development Plan (HWDP) 1996-2003」及び「2006-2015」では、CPAガイドラインや人員計画に基づいて、求められるサービスを提供できる質の高い保健人材を輩出する必要性が謳われている。
		保健省は、本プロジェクト以外にも「医療従事者教育の改善」を促進しているか？	カ国の自助努力の度合い	保健省の施策	Accreditation Committee for Cambodia (ACC) を設置して質の向上を監督すると共に、HSSP予算による看護教育のカリキュラム改善に取り組んでいる。
		保健医療施設における医療従事者の需要は高いか？	需要の度合い	施設等の意見	各公的医療施設は定員の増員を望んでいるが、公務員の配置計画は人事院の管轄であり、増加は困難である。また職種により需要の差があり、放射線技師や検査技師に関してはその必要性があまり認識されていないため、需要が高いとはいえない。
		プロジェクトは保健医療施設のニーズと合致しているか？	雇用への要望	施設等の意見	一部NGO等が医療技術者の養成を行っているが、医療技術者を輩出する公的機関はTSMCとRTCしかない。また医療施設は資格を持つ医療従事者を確保したいと考えているので雇用したいと考えているが、人員増加が困難なので有効需要とはなっていない。
		プロジェクトは高校卒業生の需要と合致しているか？	高校卒業生は医療従事者になりたいと考えているか？	学校への進学希望	医療技術者を希望する学生の第一志望は医師であること、私立の大学が乱立していること、近年はIT関連など選別の幅が広がったことにより、以前より希望者数は減少しているようであるが、現在でも入学希望者が定員の十数倍となっていることから、希望は高い。
		プロジェクトはRTCやTSMCの生徒のニーズと合致しているか？	学生の教育環境への希望	学生等の意見	学生は就職率の向上と教師のスキルアップへの期待が高いが、前者は本プロジェクトの対象外である。教師のスキルアップに関してはアンケート回答者の半数がニーズに合致していると回答している。
		プロジェクトの方向性はJICAの国別事業実施計画と合致しているか？	援助政策との整合性	JICA国別事業実施計画	本プロジェクトは、JICA国別援助実施計画の中で、重点課題「社会開発の促進」の「保健サービス強化プログラム」の一コンポーネントと位置づけられている。
		選択されたターゲットグループは、カ国の医療従事者のスキルアップに適切なターゲットか？	RTCとTSMCはカ国の医療従事者教育において適切な役割を担っているか？	医療従事者教育におけるRTCとTSMCの役割	NGOや私立の学校があるが、公的医療技術者養成機関はTSMCとRTCしかないのことで、対象として適切である。
		当該分野に対する支援の日本による優位性は高いか？	医療技術者教育の改善において日本のプレゼン스는高いか？ 日本は、カ国の医療技術者教育を支援するに十分な経験と技量を持ち合わせているか？	日本の影響力 経験と技量	保健医療分野における日本の支援が大きいこと、医療技術者教育は日本とGTZしか支援していないことから、日本のプレゼン스는大きい。 技術者教育という側面からは日本には十分な経験と人材があるが、制度整備という側面では必ずしも十分な経験と人材がいるとはいえない。

評価項目	評価設問		判断基準	必要なデータ	調査結果
	主設問	副設問			
有効性	プロジェクト目標の中間的な目標値 (milestones) は達成されているか？	<p>学校教育を承認する「学校指定規則」「指導要領」が施行され、持続的な教育の質が保たれる。」と成果1の指標「学校指定規則」に沿って計画的に実施される。</p> <p>各学科が、カリキュラムとシラバスに沿って「学校指定規則」の必要条件に沿って、既存教員のスキルと知識が満たされる。</p> <p>医療技術学校 (TSMC) の学校運営管理が改善する。</p> <p>指標「学校教育を承認する」「学校指定規則」「指導要領」が施行され、持続的な教育の質が保たれる。」と成果1の指標「学校指定規則」と「指導要領」が保健省によってブラカス(省令)として承認される。」との違いは？</p> <p>指標「各学科が、カリキュラムとシラバスに沿って計画的に実施される。」と成果5の指標「開業・改定されたカリキュラムとシラバスによる教育計画が80%以上実施される。」との違いは？</p> <p>指標「学校指定規則」の必要条件に沿って、既存教員のスキルと知識が満たされる。」と成果4の指標「看護・検査・理学療法・放射線技術の各学科の教員能力が向上する。」との違いは？</p> <p>指標「医療技術学校 (TSMC) の学校運営管理が改善する。」と成果6の「医療技術学校 (TSMC) の学校運営が改善される。」との違いは？</p>	計画と実績の比較	計画と実績	<p>学校指定規則 (School Approval Criteria) の最終案が、閣議にて協議中、政令 (アスクレット) として発令される見込みである。</p> <p>現在、ワーキンググループ (WG) が、カンボディア標準カリキュラムを作成中であり、プロジェクト最終年度までには各学校で標準カリキュラムに基づく教育課程が実施される見込みである。</p> <p>教員研修 (ToT) を実施することにより、標準カリキュラム策定の過程で予測される教育科目・分野に関連した専門的知識・技術の向上を図っている。</p> <p>4つの改善委員会が設置されたが、うち3つは日常業務を実施する部署に吸収された。現在は計画委員会が予算申請プロセスを作成し、そのモニタリングを実施する予定である。</p>
	プロジェクト目標の達成を端的に示しているか？	<p>指標「学校指定規則」の必要条件に沿って、既存教員のスキルと知識が満たされる。」と成果4の指標「看護・検査・理学療法・放射線技術の各学科の教員能力が向上する。」との違いは？</p> <p>指標「医療技術学校 (TSMC) の学校運営管理が改善する。」と成果6の「医療技術学校 (TSMC) の学校運営が改善される。」との違いは？</p>	プロジェクトの説明	プロジェクト関係者の解釈	<p>プロジェクトの回答は「成果1は政令、省令の発令が目的であり、プロジェクト目標はその遵守である。」であった。</p> <p>プロジェクトの回答は「成果5では80%までの計画の遵守であるが、プロジェクト目標では100%が求められる。」であった。</p> <p>プロジェクトの回答は「成果4では教員の技術的能力の向上のみであるが、プロジェクト目標では更に広範囲な能力向上が望まれている。」であった。</p> <p>プロジェクトの回答は「同じと考えられる。」であった。</p>
	プロジェクト目標を達成するための外部条件(プロジェクトの外側のリスク)は満たされているか？	<p>保健科学大学 (UHS) と保健省 (MOH) の教職員給与・機材・消耗品予算実施が改善するか、少なくとも悪化しない。</p> <p>放射線技術課程に充分な教員が配置される。</p> <p>医療技術学校 (TSMC) が私立にならない。</p> <p>学生入学が規定の方法で決定され、入学生数が規定最大数を超えない。</p>	論理の確認	リスク/外部条件	<p>悪化してはいないが改善していない。ただしTSMCはUHSの傘下となったため、UHS職員との待遇の差への不満が増加している。</p> <p>配置されない。これは講師の給与が低いこと、現行の保健省の手続きでは、人材が輩出されていない分野への人材配置がされないことなどによる。</p> <p>ここで言う「Private」とは自費学生の増加を示すことが確認されたが、TSMCの喫学生がなくなる予定はない。ただしTSMCは自費学生の増加を望んでいる。</p> <p>現在、定員は守られているが、逆に定員増を望む声が多い。</p>

評価項目	評価設問		判断基準	必要なデータ	調査結果	
	主設問	副設問				
効率性 中間評価時、各成果の指標はどの程度達成されているか？		成果1:「学校指定規則」と「指導要領」が保健省によってブラカス(省令)として承認される。			計画ではすべて省令レベルであったが、「学校指定規則」が政令で施行される事となり、計画では既に承認されている予定であったが、現在手続中である。	
		成果2:カリキュラムとシラバスが作成・改定され、保健省によってカンボディア国標準カリキュラムとして承認される。			計画では、「放射線技術学科はカリキュラム・シラバスの承認公布を終え、臨床検査学科はカリキュラム・シラバスの作成中」であるが、現在の進捗状況は「放射線学科3年制新カリキュラム大枠は承認済みでシラバスは作成中。臨床検査学科の3年制改カリキュラム大枠は承認済みでシラバスは作成中。」である。看護はHSSPの予算で保健省が別途作成中であり、理学療法は2005年5月のPDM改定時では明確でなかったが、その後の調査と専門家の助言により、カリキュラム改定が必要であることが判明し、作成している。	
		成果3:看護・検査・理学療法・放射線技術の各学科の実施に関わる教育教材が作成または提供される。			計画では「放射線技術と臨床検査の2学科において、英語教材の供与、(クメール語)教材の開発を終了。」であり、看護と理学療法は、POIに記載されていない。しかしPDMでは記載されており、差異がある。現在の進捗状況は「図書館が整備され、放射線技術学科が「X線撮影教本」を作成済み、臨床検査学科は未実施。」である。	
		成果4:看護・検査・理学療法・放射線技術の各学科の教員能力が向上する。		計画と実績の比較	PDMとアウトプットの実績	計画では「研修実施とモニタリング評価実施。」で現在の進捗状況は、研修は各学科で実施しており、一部は2007年度にも実施予定。モニタリング評価は2007年度実施予定。」とのことであった。教員の能力向上はその確認方法が定まっていないため、計測されていない。
		成果5:開発・改定されたカリキュラムとシラバスによる教育計画が80%以上実施される。		計画と実績の比較		計画では「看護と放射線技術学科は、カリキュラムに沿った教育計画作成し、理学療法と臨床検査学科は今後実施する予定」であるが、現在の進捗状況は「放射線技術と臨床検査学科はカリキュラムに沿った教育計画作成中。」であった。看護は、カリキュラムが完成していないこと、HSSPによるワーキンググループの判断で2007年10月に延期されたため、作成されおらず、理学療法はカリキュラム作成開始が遅かったため、完成せず2007年10月に延期された。この2学科が既に3年制であるのに比較して、放射線学科と臨床検査学科は3年制に新設又は移行する学科なので、カリキュラムの大枠ができた時点で新・改カリキュラムに基づいた授業を開始した。
		成果6:医療技術学校(TSMC)学校運営管理のための改善委員会とモニタリングチェックリストが作られる。				計画は「改善運営委員会の実施状況モニタリング・フォローアップ実施。」であり、現在の進捗状況は「モニタリングチェックリスト作成中。」である。4つの改善委員会が設置されたが、うち3つは日常業務を実施する前署に吸収された。現在は計画委員会が予算申請プロセスを作成し、そのモニタリングを実施する予定である。
		成果7:各年のJCCと四半期のPCC会議が定期的開催される。プロジェクト報告が作成され、JCCとPCCメンバーに周知される。				計画は、「委員会の定期的開催実施。」で現在の進捗状況は各委員会が定期的開催されている

評価項目	評価設問		判断基準	必要なデータ	調査結果
	主設問	副設問			
	アウトプットの達成への促進・阻害要因はあったか？		計画と実績の比較	PDMとアウトプットの実績、外部条件	PDM改定とPO策定によるプロジェクト活動計画が5年計画の3年目より明示されたため、時間的な制約が大きい。一方、放射線学科が先行した要因として、外国に放射線を求めている人材が少なかったため、抵抗が少なかった(他の職種では既に多数の従業員があるので調整が変更)ことがある。
		<p>(成果3)教材の質をどのように確認するのか？</p> <p>(成果4)教員の能力の向上をどのように確認するのか？</p> <p>(成果5)どのように「開発・改定されたカリキュラムとシラバスによる教育計画が80%以上実施される。」を確認するのか？</p> <p>(成果6)どのように「医療技術学校(TSMC)の学校運営が改善される。」を「医療技術学校(TSMC)学校運営管理のための改善委員会とモニタリングチャックリストが作られる。」によって確認するのか？</p>	プロセスの説明	プロジェクト関係者の解釈	<p>学生の理解度で確認するべきという意見が多かったが、その方法では教材以外の効果を排除することが出来ない。またプロジェクト終了までに確認することは困難である。また既存の教材との比較という意見もあったが、比較基準は示されなかった。</p> <p>教材と同様、学生の理解度という意見が多かったが、その方法では教材以外の効果を排除することが出来ない。またプロジェクト終了までに確認することは困難である。また授業観察による評価という意見もあったがその基準は示されていない。さらに研修前後の教師の力量を比較するという意見もあった。</p> <p>週単位の時間割、担当教員を作成して、その通りに実施するかをモニタリングする。理想としては、自分たちで教育計画を見直すようになるまでであるが、プロジェクト期間中は、一通りの教育課程を修了することが出来ない。確認は出来ない。また80%の内容は明確にはされていない。</p> <p>改善委員会の活動の成果を持って、「学校運営」が全て改善されたとはいえないが、本成果では改善委員会のみを焦点を当てているので、そのモニタリング、チェックにより、確認は可能である。</p>
効果性	各活動はアウトプットの達成に十分か？	ワーキンググループの活動は成果1を達成するために十分か？	目標達成度合い	計画と活動実績	日本の基準を参考にしながらも、カンボジアの状況を考慮しながら作成し、また保健省が主体的にメンバーの招集をかけるなど、有効に機能していることから、成果の達成に十分寄与すると考えられる。ただし多忙なメンバーを頻繁に招集することが出来ないなどの事情から、進捗が遅れが生じている。
		NHEBの活動は、成果2を達成するために十分か？	目標達成度合い	計画と活動実績	プロジェクトのために作る予定の組織であったが、(WGの活動のチェックのため)それだけののために作ることが適切かということ、メンバーに参加する予定の人を巻き込む形で個別に承認を得る形にした。
	各活動はアウトプットの達成に十分か？	改善委員会の活動は成果6を達成するために十分か？	目標達成度合い	計画と活動実績	当初、委員会活動の主旨が不明瞭であり、会合もあまり開催されなかった。その後、日常業務、UHSの業務などを整理し、計画委員会のみで継続している。前述の通り、改善委員会の活動のみで「学校運営」が全て改善されたとはいえない。
		各トレーニングコースは適切なスキルを身に付けるのに有効であったか？	目標達成度合い	計画と活動実績	個々のコースは教師のスキルアップに貢献している。ただし研修回数が少ないこと、期間が短いこと、受講者数が限られることなどから、各学校の教師が体系的かつ体系的にスキルアップしているとは言いえない。
		投入はアウトプット達成に十分か？ 無駄な投入・コストはないか？	投入に対する達成度合い 無駄なコストの有無	計画と投入実績 計画と投入実績	特に問題は無いと言った。特に問題は無いと言った。

評価項目	評価設問		判断基準	必要なデータ	調査結果
	主設問	副設問			
効率性	投入はアウトプット達成に十分か？(機材、本邦研修、専門家(長期・短期)、現地経費、カ国側負担など)	投入の時期は適切か？	活動への影響の有無	計画と投入実績	短期専門家の派遣時期(派遣順番が逆のほうが効果的と思われる)やプロジェクトの本格始動時期の遅れ(運営指導調査後)などへの意見があった。
		投入はプロジェクト目標の達成に直接的に貢献するか？	不必要な投入の有無	計画と投入実績	貢献するという回答が多かった。
	プロジェクトは効果的な運営のための努力をばらっているか？	投入の質は適切か？	不適正な質の投入の有無	計画と投入実績	本邦研修に関して、その目的と内容が不明瞭と言う意見があった。
			プロジェクトの努力の有無	プロジェクトの活動	ローカルスタッフを通訊としてのみならず担当を任せ、一貫してその分野に責任を任せることにより、短期専門家の業務の引継ぎができるようになり、効率が上がった。
	公立医療技術者学校の学生に教育効果があったか(あるか)		各学校の卒業試験結果を比較	各学校の卒業試験(一次試験)の合格率	卒業試験の合格率(看護)の合格率は年々上昇しつつある。しかしそれがプロジェクトの貢献かどうかは不明である。機材や施設の供与による貢献に関しては大きいと言った。評価が多い一方、規則の策定、教員のスキルアップの貢献を挙げる意見は少なかった。
			法親の実効性	公立と私立の学校に対する政令の拘束力の有無	保健省及び教育省傘下の公立学校は予算や職員配置などを各省が配分していることから、政令に従う。私立等の場合、新期の設立時は従う可能性が高いが、既存の学校及び新設後も継続して従うかは不明である。
インパクト	上位目標は達成される見込みか	公立と私立の学校が政令の規定に従うか		学校卒業者の保健省就職雇用率	保健省のCPAガイドラインの発行とその効力、保健省のコミットメント(雇用配置計画に沿って、予算実施を進めるかどうか)による。特に配置のための予算措置は、当プロジェクトの保健省カウンターパート(人材育成部)の業務範囲外である。よって本プロジェクトの波及効果として改善される見込みは無い。
		b)規定が全ての医療技術者育成校に適応されるか	論理の確認		上位目標の達成見込みと同じで、公立学校には適応される可能性が高いが、私立学校には不明である。
	上位目標を達成するための外部条件(プロジェクトの外部リスク)は満たされているか？	c)卒業者が公立及び私立の保健医療施設で十分な雇用機会を得ることができるか			奨学生は本来、公的医療施設の人員確保のために実施されているが、人件費予算不足により、求人数が要学生の卒業数を下回っている。よって確保されることは困難と考えられる。
		d)医療技術者の業務内容が変わらないか		リスク/外部条件	今のところ変更される予定は無いが、身分法が無く、現行の業務内容が不明瞭であることから、変わるべき、明確にすべきと言う意見が多かった。
		e)卒業試験のレベルが変化しないか			今のところ変更される予定は無いが、カリキュラムの改訂に合わせて見直すべきと言う意見も多かった。
	正負のインパクト(社会、文化、環境、技術的など)が発生したか？				放射線の学校指定規則に放射線技術師の定義を記載したところ、この様なことは他の職種でも必要という認識が広まり、他の職種(医師、歯科医師、薬剤師)にも学校指定規則作成が広まった。

評価項目	評価設問		判断基準	必要なデータ	調査結果
	主設問	副設問			
自立性	開発された「学校指定規則」「指導要領」はプロジェクト終了後も活用されるか？		法規の実効性	見込み	公立学校は継続して遵守すると考えられるが、私立に関しては不明。特に学校監査の仕組みが無いので検証することが出来ないと思われる。また一度、卒業生が輩出された後に評価すべきであるが、その改訂プロセスが正しく行われるかも不明瞭。力国の場合、類似の法令があると後に発布されたものが有効となるので、改訂ではなく廃止される可能性もある。
	開発されたカリキュラム、シラバスは、プロジェクト終了後も活用、改訂されるか？		作成プロセスの技術移転の有無	見込み	活用には学校や教師がなれる必要があるが、それには周知が重要である。もし周知のための手段(オンラインエンターテインメント、トレーニング等)を怠れば、教師は今までのカリキュラムに基づいて授業を行うことが考えられる。
	教員の技能レベルを適切に維持すること、適切な技能レベルの教員を十分に確保することは可能か？		継続教育システムの有無	見込み	教師の生涯学習の仕組みが無いこと、力国教師によるTOTに消極的であることなどから、保健省が何かしら対処しない限り、困難と思われる。
	TSMC及びRTICは適切な医療技術者育成のための活動を継続して行なえるか(財政、政策、人的資源、技術などの観点から)		組織の存続可能性	見込み	MOHやUHSが予算を確保してくれれば継続可能である。予算に関しては現在のところ大きな変化はない様である。
	保健省は引き継ぎ、医療技術者教育の改善を促進していくか？		政策の継続性	見込み	セクタープラン等における重要性に変化はないと考えられるが、もともと医療技術者教育の改善を実施する実働部隊が保健省には無いため、海外からの支援等によるプロジェクト頼らざる終えない現状がある。

2. 投入実績

1 本プロジェクトに対する日本人専門家の派遣実績
(氏名、指導分野、派遣期間、派遣前の所属)

専門家氏名	指導分野	派遣期間	派遣前の所属
山崎 裕章	チーフアドバイザー	2003/07/06 - 2005/07/05	医療法人雪ノ聖母会聖マリア病院
小嶋 慎一郎	業務調整	2003/08/13 - 2005/08/12	国際協力出版会
柿川 房子	医療技術者教育	2003/10/06 - 2004/10/06	なし
野地 恵子	組織強化	2004/01/11 - 2004/01/24	(株)アイシーネット
近藤 弘	学校運営	2004/01/18 - 2004/02/01	大阪府立大学医療技術短期大学
金場 敏憲	X線技術者教育	2004/02/01 - 2004/03/25	国際医療福祉大学
佐々木 由三	X線技術者教育	2004/09/30 - 2005/07/29	なし
高岡 宣子	看護教育	2004/12/06 - 2005/02/05	医療法人雪ノ聖母会聖マリア病院
河村 恵子	業務調整	2005/07/12 - 2006/05/31	(株)ティックス
眞鍋 紀子	検査(カリキュラム開発)	2005/07/31 - 2005/09/03	香川県立保健医療大学
藤原 雅弘	理学療法教育(研修計画・規則策定)	2005/08/06 - 2005/09/03	愛媛十全病院
高岡 宣子	プロジェクト管理	2005/08/08 - 2005/09/30	医療法人雪ノ聖母会聖マリア病院
高岡 宣子	看護教育(規則策定情報調査)	2005/08/08 - 2005/09/30	医療法人雪ノ聖母会聖マリア病院
伊達 潤子	チーフアドバイザー	2005/09/15 - 2007/09/14	なし
佐々木 由三	X線技術者教育	2005/09/20 - 2006/07/19	なし
小西 香子	看護研修計画	2006/01/16 - 2006/04/13	国立国際医療センター
中野 京子	検査(教材作成・研修計画)	2006/02/12 - 2006/04/01	弘前大学医学部保健学科検査技術科
坂本 修	検査(指定規則・指導要領)	2006/03/01 - 2006/03/31	なし
杉本 孝生	学校運営	2006/03/19 - 2006/04/14	医療法人雪ノ聖母会聖マリア病院
高岡 宣子	看護(指摘規則・指導要領)	2006/05/18 - 2006/06/16	医療法人雪ノ聖母会聖マリア病院
及川 雅典	業務調整	2006/05/24 - 2008/-5/23	(有)アールディアイ
藤田 博暁	理学療法(国内研修)	2006/07/16 - 2006/08/23	国際医療福祉大学
佐々木 由三	X線技術者教育	2006/09/10 - 2007/06/09	なし
小西 香子	看護(研修計画・実施)	2006/09/10 - 2006/11/05	国立国際医療センター
高岡 宣子	学校運営	2006/11/15 - 2006/12/20	医療法人雪ノ聖母会聖マリア病院

2 カウンターパートの配置実績

(氏名、協力期間中の役職、専門分野、研修期間、技術移転を行った専門家名等)

C/Pの氏名	役職	専門分野	研修	技術移転を行った専門家氏名	実施期間での勤務期間	備考
キェ・ボン (Keat Phuong)	保健省人材育成部長	人材育成	✓	山崎、伊達、	2003/09/15-upto now	
ホイ・ソバート (Huy Sovath)	医療技術学校校長	人材育成	✓	山崎、伊達	2003/09/15-upto now	
マツ・ブン・タン (Math Bun Than)	カンポット看護学校校長	人材育成	✓	山崎、伊達	2003/09/15-upto now	
ユオ・バン (Yos Ban)	バットアンバン看護学校校長	人材育成		山崎、伊達	2003/09/15-upto now	
キン・ボン・アン (kim born An)	カンボンチャム看護学校校長	人材育成		山崎、伊達	2003/09/15-upto now	
トク・レン・スー (Tek Leng Soeu)	ストントレン看護学校校長	人材育成		山崎、伊達	2003/09/15-upto now	
ポン・サム・ソン (Phom Sam Song)	保健省人材養成副部長	人材育成	✓	小嶋、河村、 及川	2003/09/15-upto now	
ピウ・サオ (Pheav Sao)	医療技術学校副校長	人材育成		小嶋、河村	2003/09/15-2006/04	
リム・ホイ (Lim Huy)	保健省人材部副部長	人材育成	✓	柿川、高岡、 小西	2003/09/15-upto now	
トイ・ウ・ニエン (Touch Sok Neang)	保健省人材部基礎教育主任	人材育成		小西	2003/09/15-upto now	
レップ・アマツ (Lep Ahmad)	バットアンバン看護学校副主任	看護	✓	柿川、高岡、 小西	2003/09/15-upto now	
ミエ・ソビエツプ (Meak Sopheap)	バットアンバン看護学校教員	看護		柿川、高岡、 小西	2003/09/15-upto now	
チェ・ポロ (Chea Polo)	バットアンバン看護学校教員	看護		柿川、高岡、 小西	2003/09/15-upto now	
シン・チュウ (Sin Chov)	カンポット看護学校教員	看護	✓	柿川、高岡、 小西	2003/09/15-upto now	
セン・ピセツ (Sen Piseth)	カンポット看護学校教員	看護		柿川、高岡、 小西	2003/09/15-upto now	
チュン・ヨツテビ (Chun Yutheavy)	カンポット看護学校教員	看護		柿川、高岡、 小西	2003/09/15-upto now	
オム・リン (Om Rin)	カンポット看護学校教員	看護		柿川、高岡、 小西	2003/09/15-upto now	
クン・コマン (Khun Korma)	カンボンチャム看護学校教員	看護		柿川、高岡、 小西	2003/09/15-upto now	
シン・イエング (Sim Eng)	カンボンチャム看護学校教員	看護	✓	柿川、高岡、 小西	2003/09/15-upto now	
ダン・ソパール (Duch Sophath)	カンボンチャム看護学校教員	看護		柿川、高岡、 小西	2003/09/15-upto now	
ホン・シナ (Hort Synak)	カンボンチャム看護学校教員	看護		柿川、高岡、 小西	2003/09/15-upto now	
ソク・チャントウル (Sok Chanthol)	ストントレン看護学校副校長	看護	✓	柿川、高岡、 小西	2003/09/15-upto now	
セイ・ソパテイ (Say Sophany)	ストントレン看護学校教員	看護		柿川、高岡、 小西	2003/09/15-upto now	
チャン・バン (Chan Vann)	ストントレン看護学校教員	看護		柿川、高岡、 小西	2003/09/15-upto now	
キョ・チャンティ (Kheang Chanrithea)	医療技術学校看護学科長	看護	✓	柿川、高岡、 小西	2003/09/15-upto now	
ペン・リテイア (Phin Rittiy)	医療技術学校看護学科教員	看護		柿川、高岡、 小西	2003/09/15-upto now	
トウチ・サム・ア (Touch Sam Ath)	医療技術学校看護学科教員	看護		柿川、高岡、 小西	2003/09/15-upto now	
ソク・サリバン (Sok Sarivann)	医療技術学校看護学部部長	看護		柿川、高岡、 小西	2003/09/15-upto now	
サム・シナ (Sam Sina)	保健省人材育成部継続教育主任	学校、放射	✓	近藤、杉本、 佐々木	2003/09/15-upto now	
チェオ・キムスリン (Chhor Kimsreng)	国立結核ハンセン氏病センター	人材、放射		金場、 佐々木	2003/09/15-upto now	
ポク・キン (Phok Kin)	カルメット病院	放射線		佐々木	2003/09/15-upto now	

チヨウ・シエン(Chov Seang)	国立母子保健センター	放射線	✓	佐々木	2003/09/15-upto now
オク・カリヤン(Ouk Kalyan)	医療技術学校検査学科長	検査	✓	真鍋、中野、坂本	2003/09/15-upto now
ヒイ・チュン・ハ(Hy Chhan Hak)	医療技術学校検査学科教員	検査	✓	真鍋、中野	2003/09/15-upto now
サウ・ラリン(Sao Lalune)	医療技術学校検査学科教員	検査	✓	真鍋、中野	2003/09/15-upto now
ハイ・ソンディ(Hay Sundry)	医療技術学校理学療法学科長	理学療法	✓	藤原、藤田	2003/09/15-upto now
コウリ・ブツリ(Khuoy Vuthly)	医療技術学校理学療法学科教員	理学療法	✓	藤原、藤田	2003/09/15-upto now

3 研修員の受入実績等
(氏名、役職、研修分野、研修期間、受入機関等)

	研修員氏名	役職	研修分野	研修期間	受入機関	備考
1	キエ・ボン (Keat Phuong)	保健省人材育成部長	人材育成	31/03-16/04/2004	聖マリア病院他	
2	ホイ・ソバツ(Huy Sovath)	医療技術学校長	学校運営	同上	同上	
3	マツ・ブン・タン(Math Bun Than)	カンボット看護学校長	学校運営	同上	同上	
4	ボン・サム・ソン(Phom Sam Song)	保健省人材養成副部長	人材育成	同上	同上	
5	リム・ホイ(Lim Huy)	保健省人材部副部長	人材育成	09/02-04/03/2005	東が丘看護助産学校他	
6	レップ・アマツ(Lep Ahmad)	バタワンバン看護学校副主任	人材育成	同上	同上	
7	ソク・サリババン(Sok Sarivann)	医療技術学校教務部副部長	学校運営	09/02/-25/02/2005	東洋公衆衛生学院	
8	ヒイ・チュン・ハ(Hy Chhan Hak)	医療技術学校検査学科教員	検査	05/02-10/03/2005	愛媛県立医療技術短期大学	
9	シン・チュウ(Sin Chov)	カンボット看護学校教員	看護教育	26/05-23/06/2005	東が丘看護助産学校他	
10	クン・コマン(Khun Korma)	カンボンチャム看護学校教員	看護教育	同上	東が丘看護助産学校他	
11	サウ・ラリン(Sao Lalune)	医療技術学校検査学科教員	臨床検査	20/05-20/06/2006	香川県立保健医療大学	
12	オク・カリヤン(Ouk Kalyan)	医療技術学校検査学科長	臨床検査	09/01-12/03/2006	昭和医療技術専門学校	
13	キエ・チャンテア(Kheang Chanrithea)	医療技術学校看護学科長	母子看護	08/05-10/06/2006	国立国際医療センター	
14	ソク・チャントウル(Sok Chanthol)	ストントレン看護学校副校長	母子看護	08/05-10/06/2006	同上	
15	ハイ・ソンディ(Hay Sundry)	医療技術学校理学療法学科長	理学教育	21/05-18/06/2006	国際医療福祉大学	
16	コウリ・ブツリ(Khuoy Vuthly)	医療技術学校理学療法学科教員	理学教育	21/05-18/06/2006	同上	
17	Mr.Chhor Kimsreng	CENAT* Hospital	X線	22/2/05-24/12/05	タイ国コーケン大学	
18	MR.Phouk Kim	Calmette Hospital	同上	同上	同上	
19	Mr.Chov Seang	NMCH** hospital	同上	同上	同上	

3 供与機材の（現況）の一覧表

（機材名、購入価格、現在の状況等）

機材番号	機材名（型番、メーカー）	購入価格	現在稼動の有無	非稼動の場合いつからか及びその理由	備考
2003-1	4WD 車輛(2)	\$59,000	有		
2004-1	成人用ベッド KA-463A 308-015-19	¥1,287,000	有		
2004-2	ベッドマットレス KE-801 308-184-03	¥585,200			
2004-3	臨床看護教育男女兼用等身大模型 M105	¥2,551,500			
2004-4	人口呼吸と外部心臓マッサー教育用マネキン NO.31005533	¥1,264,000			
2004-5	透明導尿管型（男性）M160-1	¥910,000			
2004-6	透明導尿管型（女性）M160	¥910,000			
2004-7	頭部解剖模型 J116-1	¥487,500			
2004-8	回診車 080-243-20 PR-905	¥268,400			
2004-9	分光光度計（光度比色計） WPA S104	¥369,600			
2004-10	遠心分離機 CN-1040	¥240,000			
2004-11	恒温培養器 NIB-202	¥555,100			
2004-12	オートクレーブ ES-315	¥152,000			
2004-13	感熱滅菌器 ST0-142	¥480,000			
2004-14	恒温水槽 EA-1	¥148,000			
2004-15	試験管攪拌器 2003-03 1-6687-01	¥18,000			
2004-16	洗浄液（セル洗浄用）T-A-28 2-660-01	¥18,000			
2004-17	セルホルダー 2-484-02	¥32,000			
2004-18	セル（分光光度計用）T-1 2-476-01	¥84,000			
2004-19	セル（分光光度計用）1 9 3 9	¥60,000			
2004-20	血球計算盤 03-202-3	¥472,000			
2004-21	血球計算盤 カバーガラス 094-013-05	¥84,000			
2004-22	デイスペンサー 測定容量 0.2-2.0	¥233,000			
2004-23	デイスペンサー 測定容量 2.0-20	¥193,000			
2004-24	デイスペンサー 測定容量 10-100	¥193,000			
2004-25	デイスペンサー 測定容量 100-1000	¥193,000			
2004-26	デイスペンサチップ 容量 0.2-10	¥13,800			
2004-27	デイスペンサチップ 容量 0.5-250	¥7,700			
2004-28	デイスペンサチップ 容量 100-1000	¥17,000			
2004-29	ピペットチップ洗浄器	¥35,200			

2004-30	ピペットチップケース				¥11,400	
2004-31	試薬瓶 共通摺り合せ細口 4-5034-05				¥36,000	
2004-32	試薬瓶 共通摺り合せ広口 4-5032-05				¥48,000	
2004-33	診察台 GH-710				¥301,000	
2004-34	マット 運動用				¥116,000	
2004-35	トリートメントテーブル 電動昇降式 DV-5240E				¥979,100	
2004-36	オーバーヘッドプロジェクター CX-500			\$7,480		
2004-37	複写機 SHARP SF-4030			\$26,500		
2004-38	スクリーン TRIPORD(11)			\$4,015		
2004-39	FAX SHARP FO-2950M			\$2,080		
2004-40	TV セット SONY XR29M50, SONY SLV-ED343			\$1,214		
2004-41	デジタルカメラ CANON POWERSHOT G5			\$920		
2004-42	マルチプロジェクター AV10 MP-50E			\$8,480		
2004-43	マットプラットフォーム				¥301,000	
2004-44	エキササイズマット OG GIKEN GH-71A-L				¥116,000	
2004-45	トレーニングテーブル NIHON MRDIX DY-5240E				¥979,100	
2005-1	吸引器 BM-1500W エマジン小型吸引器		有		¥260,500	
2005-2	ACLS 訓練用マネキン W44134 交換用部品つき				¥5,993,000	
2005-3	基礎看護実習用男女兼用模型 M75				¥3,183,000	
2005-4	男性導尿模型 NM4				¥783,000	
2005-5	女性導尿模型 NM2				¥783,000	
2005-6	ストレッチャー MS-UD1				¥1,663,200	
2005-7	車椅子 PM-160 C				¥432,000	
2005-8	回診車 080-244-44 PR-933 SB				¥789,000	
2005-9	滅菌カスト 010-001-08				¥122,000	
2005-10	カスト台 080-021-02				¥361,000	
2005-11	分娩台 004-010-05 MIM-901				¥4,700,000	
2005-12	腔鏡 クスコ式 (大、中、小)				¥84,000	
2005-13	複写機			\$22,225		
2006-1	LCDプロジェクター VT47J		有		\$6,250	
2006-2	個人用被曝計 AL0KA PDM-112				\$7,575	
2006-3	GM サーベイメーター TCS-146				\$3,000	
2006-4	電離箱サーベイメーター ICS-321				\$2,620	
2006-5	X線防護衣 AL0-0-25M(21)				\$5,460	

2006-6	解像テストチャート MTF SET TYPE-2 TYPE-3		\$4,790		
2006-7	デスクトップパソコン NEC ML-7(10)		\$7,700		
2006-8	フィルム保管箱 NO.01211 SMS pb 1.0		¥51,200		
2006-9	濃度計 PDA-100		¥78,400		
2006-10	胸測計 NO.5814 SMS		¥7,600		
2006-11	角度計 NO.5804		¥15,600		
2006-12	ユニバーサルカウンタ SC 7206		¥709,740		
2006-13	オシロスコープ DCS 7020		¥210,000		
2006-14	万能ブリッジ (三田無線)				
2006-15	PHメーター		\$920		
2006-16	乾湿球温度計 WBGT		¥336,000		
2006-17	定積気体温度計		¥8,800		
2006-18	気圧計 NO.7612-00		¥14,400		
2006-19	顕微鏡 ES2		\$1,270		
2006-20	分光光度計		¥465,060		
2006-21	テスター FLUKE 179(21)		\$6,040		
2006-22	三相変圧器 3WTC-50K		¥568,000		
2006-23	電気冷蔵庫 SHARP				
2006-24	静脈注射トレーニンゲモデル		¥581,200		

4 主な供与機材のうち、現在稼動していないもの内訳

(機材名、購入価格、非稼動の理由及び期間等)

機材名	購入価格	稼動開始時期	耐用年数	現況 (注)	稼動していない理由・期間
			該当なし		

5 現在の供与機材の維持管理体制

- (1) 機材の供与にあたってはその都度相手側機関から受領書を徴収し保存している他、機材供与台帳に登録して管理している。
- (2) 年に2回程度機材の維持管理体制を確認するための実地調査を行い、故障機材があった場合は対処法を指導し、または修理の手配を行っている。
- (3) 供与機材のうち使用方法の指導が必要なものについては、短期専門家またはプロジェクトの担当スタッフが責任をもって指導する態勢をとっている。

6 日本側ローカルコスト投入実績

費目	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	合計	備考
在外事業強化費	\$51,593	\$52,577	\$165,739	\$136,655 (予定)	\$406,564	
	\$4,441	0	0	0	\$4,441	
合計	\$56,034	\$52,577	\$165,739	\$136,655 (予定)	\$411,005	

7 R/D等において規定されている相手国負担事項、予算、実績

費目	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	合計	備考
プロジェクト執務場所 (光熱水料を含む)	負担	負担	負担	負担	負担	
プロジェクト事務所電話料金	負担	負担	負担	負担	負担	
X線研修 (4ヶ月コース)				\$1,590	\$1,590	
合計					\$11,190	